



3月20日(水・祝)、さようなら原発一千万署名 市民の会の呼びかけによる「3.20 さようなら原発全国集会」が東京・代々木公園で開催され、6,000名の参加者(主催者発表)が結集し、JR総連は在京単組・労連を中心に組合員100名と、9条連の仲間とともに参加しました。

主催者を代表して、一千万人署名市民の会・呼びかけ人の落合恵子さんは「3.11から13年経った。私たちは原発事故を忘れていない。しかし、現実から目を逸らすための仕組みがたくさんある。もう一度、原発と命や自然は共存できないことを確認し、自民党政治を終わらせよう」と挨拶しました。その後、市民団体などからスピーチがされ、最後にルポライターの鎌田慧さんは「大江健三郎さんも坂本龍一さんも瀬戸内寂聴さんも亡くなった。ここまで頑張っても13年経ったが、まだ原発はある。諦めずに声を上げて廃炉、脱原発に向かっていこう」と訴えました。

集会後は、代々木公園から表参道を抜けて神宮外苑までパレードをおこない、市民に脱原発にむけて共に声をあげようと訴えました。



**JR総連は、原発のない安心して暮らせる社会を実現するために、
脱原発の取り組みを進めていきます！**